

◆『Intelligence』購読会員の皆さまへ:ニュース・レターNo.41(2016年11月号)

寒さに向かう晩秋の候、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。現在、次号『Intelligence』第17号の発行に向けて、編集委員会では順調に編集作業を進めております。来春、お手元に届きますことを楽しみにお待ちしております。

ご愛読の会員の皆さまには、ニュース・レターとともに「Intelligence」会員専用ウェブサイト <http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html> また、会員向けブログとあわせてご覧いただければ幸いです。皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

【第106回20世紀メディア研究会】(10月29日(土)午後2時30分～5時30分)

第106回研究会では、お三方にご発表いただきました。

- ① 大津昭浩(日本大学大学院新聞学研究科・博士後期課程)「日本新聞会会長・田中都吉の新聞記者統制～『日本新聞報』を手がかりとして」は外交官出身で日本新聞会会長を務め、統制政策などにも関わった田中都吉の軌跡についてご報告いただきました。
- ② 木原勝也(大阪メディア文化史研究会)「満州国通信社の知られざる広告代理業の実態」は、1932年の国通設立後、広告業との兼営を図り、新聞、ラジオ等の満洲メディアの一手扱いを企図したが、不首尾に終わり、1942年の特殊法人設立では広告収入を断念するまでの知られざる歴史をご報告いただきました。
- ③ 三澤真美恵(日本大学文理学部中国語中国文化学科・教授)「植民地期台湾の戦時動員プロパガンダ映画——発見されたフィルムから考える」は、丹念な調査の成果をもとに、植民地期台湾の映画と、それが配置された「空間」の意味を読み解いて頂きました。

【ブログ用エッセイ募集】会員向けブログでのエッセイは、すでに第十回を重ねております。このブログのエッセイの執筆希望者を、購読会員の中から募っております。研究に関する小話やヒント、資料紹介などを会員向けブログに掲載なさりたい方は、お原稿をお待ちしております。原稿の長さは千字程度、写真を二葉そえてご提出下さい。詳しいことは、事務局までご連絡下さい。

なお、研究会当日に配布されたレジュメは、会員ホームページにアップされています。
<http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html> をご覧下さい。

【コラム:二人の大統領とメディアへの期待】

2016年11月は、二人の大統領が目撃された月であった。一人は、アメリカ次期大統領のドナルド・トランプ氏、もう一人が、韓国の現大統領である朴槿恵氏であった。両氏をめぐる、さまざまな動きが、今後の帰趨への不安を高めている点では共通している。ここでは、そうした不安のなかに、あえてメディアへの期待を見出したい。

トランプ氏の当選には、世界が驚き、不安に包まれた。大統領選挙の結果を受けて、アメリカ社会では、視聴率を稼ぐべく、暴言を取り上げ続けたメディアに対する痛烈な批判が巻き起こっている。また、アメリカ・メディアが、トランプを支持する草の根の声を過小評価し、結果を見誤ったとして、メディアの信頼性への厳しい指摘もなされている。メディアの責任が問われても仕方ないだろう。だが、メディアへの信頼性が崩壊したかといえば、そうではない。興味深いことに、トランプ当選後、『ニューヨーク・タイムズ』の購読者は、増加しているのである。アメリカ社会では、メディアの責任が問われ、信頼性への疑義が示されていても、既存の主流メディアへの期待は、いまだ失われていないのではないだろうか。

こうした期待は、朴槿恵大統領をめぐるスキャンダル(いわゆる「崔順実ゲート事件」)報道にも見出される。同事件は、韓国の中央日報系ケーブルテレビ局である JTBC のスクープで明らかになった。これぞジャーナリズムの醍醐味といったところであり、JTBC に対する韓国国民の期待は、きわめて大きくなっている。一方、既存の主流メディアである KBS, MBC, SBS は、何をやっていたのかとして、厳しい批判が浴びせられている。責任が問われながらも、期待が失われていない点では、アメリカと同様の構図を見てとることができる。

アメリカでも韓国でも、メディアへの批判には、期待がたたま込まれている。不安が広がるなかでも、失われていないメディアへの期待は、たとえジグザグな道程であろうと、少しでも「まともな」未来を構築するうえで、大きな原動力になるであろう。

翻って、日本ではどうであろうか。メディアへの批判もなければ、期待もないという社会にならないよう、私たちは、どうすべきか、今、問われているように思われる。

[11月22日付 文責:小林聡明]